

米軍にアスベ

トの撤去を要請

3.6日 相模原市

相模原市にある米軍相模総合補給廠にアスベストが大量に野積みされていた問題で、同市の片野昌克助役は五日、自衛外相をはじめ、チャールズ・W・ダイク在日米陸軍司令官（中将）、穴倉宗夫防衛施設庁長官に会い、「アスベストの撤去要請書」を手渡した。

要請書は館盛静光市長名で、「アスベストは発がん性のある物質であり、飛散して人体に入った場合の危険は計り知れない。今回、大量搬入されたアスベストはビニール袋に入れ、野積みの状態で放置、何らかの要因で飛散した

場合、付近住民の健康を害することは必定だ。速やかに撤去を要請する」という内容。

これに対し、米軍側からは同日、「一時的に保管しているものであり、しかるべき時期に本国へ送りたい。その時期は未定であるが、その間の保管の仕方については、地元民に不安を与えないよう措置する方法を検討したい」という回答があった。